

# 明日も元気で来いよ！

たいへん厳しい寒さが続いています。それでも、空気は冷たいけれど、日差しの中に、春のやさしさを感じるようになりました。東門のところにある梅のつぼみも赤みをおびてふくらんできました。春の訪れが待ち遠しです。



## 2月玄関掲示クイズ

ヒヤシンスを漢字で書くと、どのように書くでしょう。

早速、たくさんの子どもが答えにきました。日記「たくましく・・・」にも、書いた子がいます。

これは、6年生のOさんの「たくましく…」です。

ヒヤシンスを漢字で「風信子」「飛信子」と書くそうです。…江戸時代には、ヤコウラン、ニシキユリと呼ばれていたそうです。明治のころから、「ヒヤシンス」と呼ばれ、「風信子」「飛信子」が当て字で使われ出したそうです。…風信子の当て字は、香りが風によって運ばれるさまを表しているようです。…

ヒヤシンスは、ユリ科の植物でいい香りがします。風に乗って香りが運ばれるから「風」という文字が使われたというのは、なかなか素敵な発想ですね。

5年生は、調べる前に、自分でどんな漢字か予想していました。「冷信子」「冷神子」「冷神巣」「冷寝水」「冷心巣」などと、なかなかよく考えていました。3年生のMくんは、ユリの仲間で、春に青、紫、紅などの花が咲くといったことをメモに書いてくれました。Yさん（保護者）は、花の色ごとに花言葉が違うことを教えてくださいました。

なかには、「今回のクイズは、簡単だった。次回は、もっと難しいのをお願いします」というように、チャレンジ精神旺盛な感想もありました。プレッシャーを感じつつ、どん

な問題をつくろうか・・・今から楽しみにしています。

このように、私のクイズに、子どもたちが素直に反応してくれること、そして、保護者の方までもが応えてくださることが、たいへんうれしいです。

## 名犬チロリ・アイコンタクト

前号でお知らせしたDVD「愛と涙の感動の実話 アイコンタクト チロリ物語」（NPO法人 動物と人の愛の絆促進協会 制作）を他の学年でも見ました。みながら、涙を流す子もいました。中には、ティッシュペーパーの箱を抱えて、大泣きだった子もいたそうです。子どもの感性は、すばらしいと思います。

感想の中には、次のような内容がたくさん書かれていました。

- ◆つらく、苦しい経験をしたのに、がんばったチロリの心の強さ
- ◆障がいのある人や高齢の方の心をいやすチロリの優しさ
- ◆チロリを助けてセラピードッグにした大木さんの優しさと行動力
- ◆チロリが最期の時を迎える場面で、大木さんと視線を重ねた様子
- ◆チロリと大木さんの心の強い結びつき
- ◆人間の身勝手で多くの犬や猫が殺処分されることへの憤り。命の重さ。

子どもたちは、大切なことをたくさん学び取りました。

## インフルエンザ

本校でも3年生がインフルエンザによる学年休業となりました。連休明けには、元気になって、登校してくれることを願っています。お大事に。

他の学年の皆さんも、手洗い、うがい、十分な睡眠など体調には十分注意し、無理しないようにしてください。

頭痛や微熱など、症状が軽くても、大事をとって自宅で休養するようにしてください。

